

# 新しい時代に向けて



## 赤井日出子

三菱ケミカル(株)  
[227-8502] 横浜市青葉区鴨志田町1000  
主任研究員、  
専門は高分子合成、機能性複合材。  
akai.hideko.mu@m-chemical.co.jp  
www.m-chemical.co.jp

平成の時代も終わり、新たな時代が始まりました。昭和の時代に社会人になった私としてはそんなに時がたったのかと本当に驚きです。社会人になって長い時間が過ぎましたが、ふりかえるとあっという間でした。

私が入社した当時、社名は三菱化成工業でしたが、すでにたくさんの女性研究者が働いておられ、諸先輩方に囲まれスムーズに会社生活をスタートすることができました。その当時、結婚、出産を経て仕事を続けられる方はまだまだ少数派でしたが、育児休暇のない時代に出産され、産後8週間で復職されていた先輩方には、育児休暇を当然のようにとった私から見ると未だに頭が下がるとともに、諸先輩方の存在は、私が仕事を続けるうえで大きな支えになりました。

私は大学時代、高分子合成をテーマとしていましたが、入社後会社でも合成を担当する部署に配属され、重合三昧の日々を送りました。組成検討、物性評価を経て合成のスケールアップ、事業所での試作、あるいは試作失敗の経験、採用になり製品になったことなど企業ならではの経験をしてきました。

企業の研究ですので一つの仕事を事業所に移管できた場合はハッピーですが、そこに到達せず断念するケースもあります。今から思うと納得せず終わった場合もありました。また、その仕事は継続するが、自分の担当が変わる場合もあります。若い頃は自分の仕事の継続性についてあまりこだわっていませんでしたが、次第に自分に納得しながら研究をすることが大切だと思うようになり、“今やれることはやっているか、やりきっているか”といつも考えるようになりました。時間には限りがありますが、気づいていただけやっていたいなかった、あのときやっておけばよかったと後悔しないよう気を付けるようになってきました。また、やれることをやって自分に納得することも大事ですが、自分の研究していることを世の中に問うてみることも大事だと感じるようになってきました。研究しているものが、世の中の役に立つのか、必要とされているのかを知ることはモチベーションにもつながりますし、研究の方向性を考えるうえでとても重要です。科学技術も日々

進歩していくので、研究もそれに合わせて見直しながら、世の中の役に立つものを作っていければと思います。

ここ10年位は学会活動にも関与させていただいています。高分子学会の研究会の運営委員会や関東支部の集まりなどに参加しています。正直言って、久しぶりに三重大行事にも参加しましたが、とても新鮮でした。分野の違う研究の話の聞いたり、自社以外の方々とお話しすることでいろいろな刺激を受けましたし、研究の話だけでなく、産学との違い、ほかの企業との違いも感じられて大変参考になりました。今後このようなつながりも大切にして、研究の幅を広げていきたいと思っています。

企業での研究をひた走ってきた私ですが、幸いなことに結婚し、二児にも恵まれました。子供たちは今では二人とも成人していますが、小さい頃は本当に大変でした。保育園のお迎え、食事、風呂……。寝かしつけでは子供たちと一緒に寝てしまい、夜中に起きて片づけ、洗濯することもありました。夫の単身赴任と重なり、すべてを一人でやっていた時期もあり、もう一度やれと言われたらきっとできないと思います。それでも何とかやってこられたのは、子供たちの笑顔があったからだと思います。また、丈夫な体を授けてくれた両親にも感謝しています。会社で面白くないことがあったときも、子供の笑顔で乗り越えられたように思います。今でも子供の笑顔を見ると幸せだと感じます。私の子育てのこつの一つは、“使えるものは何でも使え”でした。保育園時代は、地域のサポートの方にお迎えに行っていたり残業したり、病児保育を利用したりして研究の時間を確保しました。

子供たちの保育園、学童保育を通して貴重なパパ友、ママ友にも恵まれました。家族ぐるみのおつきあいが続き、今でもしょっちゅう集まる大切な友人達ですが、このように会社とは関係ない友人をもち、仕事を忘れて楽しむ時間をもつことも仕事を続けていくには大切です。研究を続けていくうえで心身ともに健全であることが大前提です。仕事も私事も笑顔を忘れずに、が私のモットーです。